

# PayPay投信 米国株式インデックス

追加型投信／海外／株式／インデックス型

## 交付運用報告書

第1期(2023年3月27日決算)

作成対象期間(2022年3月16日～2023年3月27日)

第1期末(2023年3月27日)	
基準価額	10,054円
純資産額	388百万円
騰落率	0.5%
分配金合計	0円

(注)騰落率は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算しています。

### 受益者の皆様へ

平素は「PayPay投信 米国株式インデックス」(以下、「当ファンド」という場合があります。)にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第1期決算を行ないました。当ファンドは、米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、米国の株式市場全体に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なっております。当期につきましても運用の基本方針に沿った運用を行ないました。期中の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## PayPayアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地

サポートダイヤル

0120-580446

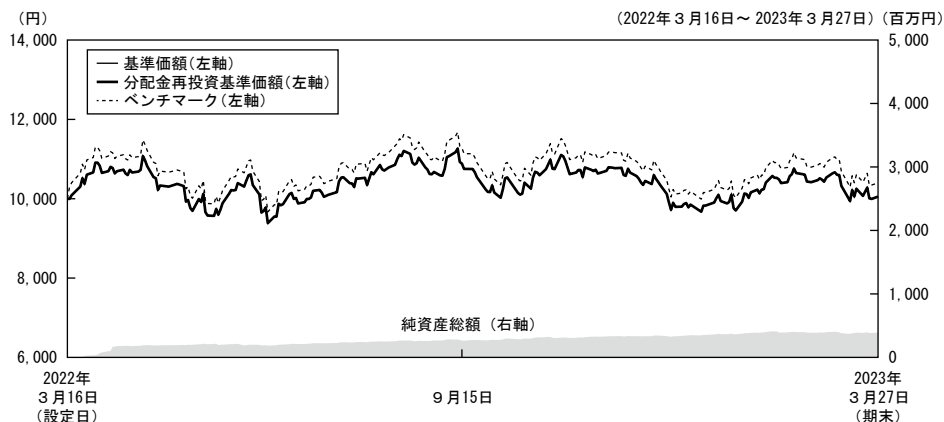
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

<https://www.paypay-am.co.jp>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法(投資信託及び投資法人に関する法律第14条第2項に規定する電磁的方法をいいます。)により提供する旨を定めております。上記「サポートダイヤル」に記載の弊社ホームページの「ファンド情報」のページより当ファンドの運用報告書(全体版)を閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

## 《運用経過》

## 【基準価額等の推移について】



設定日：10,000円

第1期末：10,054円（既払分配金 0円）

騰落率： 0.5%（分配金再投資ベース）

### ■基準価額の主な変動要因

米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、米国の株式市場全体（特定の株価指数を含みます。以下、同じ。）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なった結果、ベンチマークが上昇したことなどから基準価額は上昇しました。詳しくは【投資環境について】をご参照ください。

※当ファンドにおいて、連動対象とする株価指数（「ベンチマーク」という場合があります。）はMorningstar 米国ターゲット・マーケット・エクスポージャー指数（配当込み、円ベース）とします。

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、分配を見送らせていただいた場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

\* ベンチマークは、Morningstar 米国ターゲット・マーケット・エクスポージャー指数（配当込み、円ベース）です。詳細は2ページをご参照ください。ベンチマークは、設定日の基準価額をもとに指数化したものです。

※Morningstar 米国ターゲット・マーケット・エクスポージャー指数（配当込み、円ベース）は、原則として基準価額計算日前日付のMorningstar 米国ターゲット・マーケット・エクスポージャー指数（配当込み、米ドルベース）をもとに、基準価額計算日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。

● 「Morningstar 米国ターゲット・マーケット・エクスポージャー指数」について  
 PayPay投信 米国株式インデックス（以下、「当ファンド」と言います）は、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社、又はMorningstar, Inc.を含むMorningstar, Inc.の関連会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示の保証を行わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。

## 【1万口当たりの費用の明細】

項 目	第1期		項 目 の 概 要
	(2022. 3. 16～2023. 3. 27)		
	金 額	比 率	
信託報酬	8円	0.074%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10,405円です。
（投信会社）	(2)	(0.023)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(3)	(0.033)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.018)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	13	0.122	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数。売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(13)	(0.122)	
その他費用	12	0.114	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(9)	(0.086)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(3)	(0.028)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	33	0.310	

\* 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

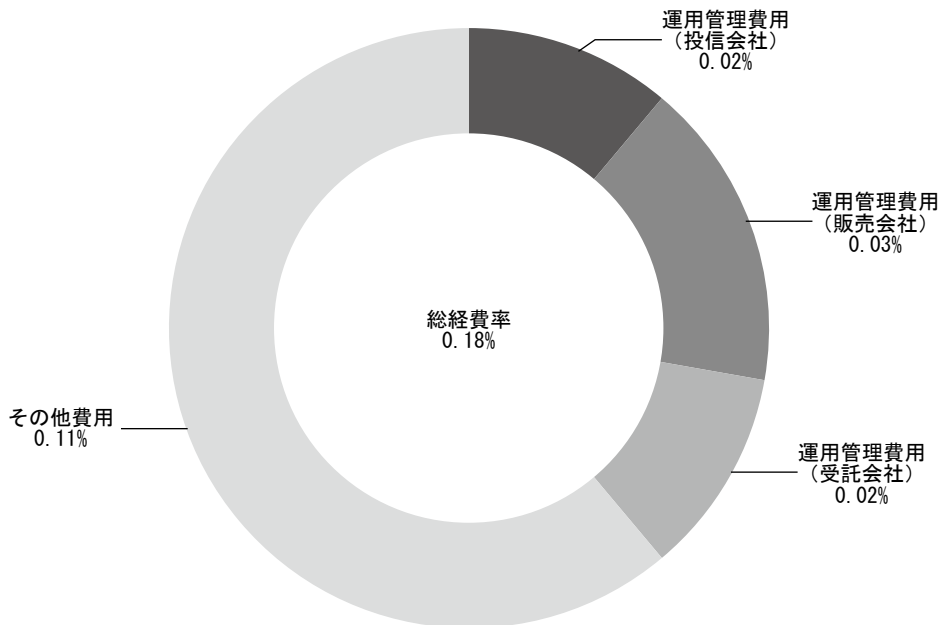
\* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.18%です。



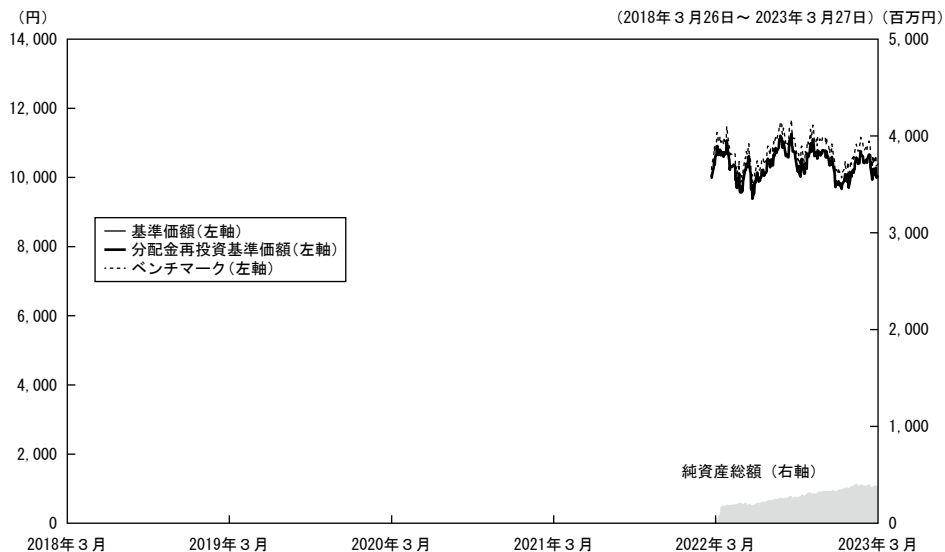
\*費用は、1万円当たりの費用の明細において用いた簡便法により算出したものです。

\*各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値です。

\*上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 【最近5年間の基準価額等の推移について】



- \*分配金再投資基準価額は、税引前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額と基準価額は同じとなります。
- \*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- \*ベンチマークは、Morningstar 米国ターゲット・マーケット・エクスポージャー指数（配当込み、円ベース）です。詳細は2ページをご参照ください。ベンチマークは、設定日の基準価額をもとに指数化したものです。

	2018年3月26日	2019年3月25日	2020年3月25日	2021年3月25日	2022年3月25日	2023年3月27日
基準価額 (円)	—	—	—	—	—	10,054
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	—	—	—	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	—	—	—	—	—
ベンチマーク騰落率 (%)	—	—	—	—	—	—
純資産総額 (百万円)	—	—	—	—	—	388

\*当ファンドの設定日は2022年3月16日であり、一印は表示可能な値がないことを示しております。また、2022年3月25日は当ファンドの決算日ではないため、表示しておりません。

## 【投資環境について】

ロシアとウクライナの停戦期待などを背景に設定直後の米国株式市場は堅調に推移しました。その後は、米国の金融政策などに一喜一憂する方向感のない展開となりました。米連邦準備理事会（FRB）の金融引締めに対する警戒感が和らいだ2022年10月から11月にかけては値を戻す局面も見られました。しかし、インフレ抑制を目的にFRBが2022年3月から利上げを実施したことなどが足枷となり、当期中の米国株式市場は上値が重い展開となりました。また、米国のシリコンバレー銀行の破綻を受けて短期的に大きく下落しましたが、金融当局の積極的な対応などから急速に値を戻すなど期末にかけては値動きが激しい展開となりました。為替相場は日米金利差の拡大などを背景に円安ドル高基調で推移しました。

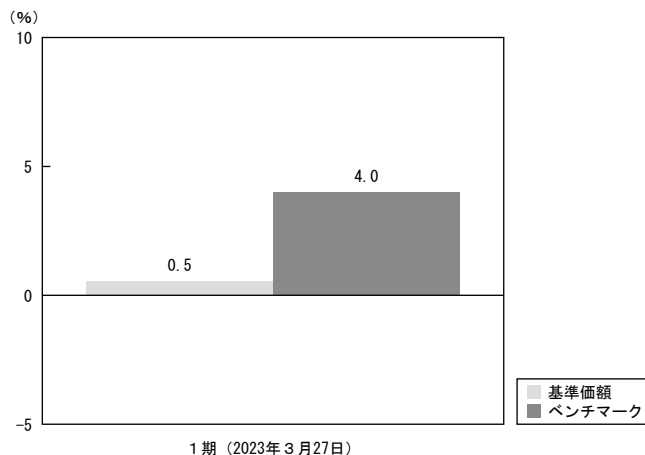
## 【ポートフォリオについて】

当ファンドは、米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、米国の株式市場全体に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なうことを基本としています。なお、投資信託証券への投資に代えて、株価指数先物取引を利用する場合があります。

当期も、運用の基本方針に則り、米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、米国の株式市場全体に概ね連動する投資成果を目指して運用を行ないました。

※当ファンドにおいて、米国の企業の株式への投資は、上場投資信託証券であるJPモルガン・ベータビルダーズ・米国株式ETF（「投資信託証券」という場合があります。）を通じて行ないません。

## 【ベンチマークとの差異について】



当期の当ファンドの基準価額の騰落率は0.5%、ベンチマークの騰落率は4.0%となりました。設定当初における有価証券の売買のタイミングや有価証券売買時の売買委託手数料、その他費用、信託報酬等がマイナス要因となりました。また、保有有価証券とベンチマークとの騰落率の差異もかい離要因としてあげられます。

## 【分配金について】

収益分配金（1万口当たり、課税前、以下同じ）については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況を勘案し、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し元本部分と同一の運用を行ないます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	第1期	
	2022年3月16日 ～2023年3月27日	
当期分配金(税込み)	－円	
(対基準価額比率)	－%	
当期の収益	－円	
当期の収益以外	－円	
翌期繰越分配対象額	143円	

- \* 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（評価益を含む）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- \* 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
- \* 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

今後も米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、米国の株式市場全体に概ね連動する投資成果を目指して運用を行なってまいります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

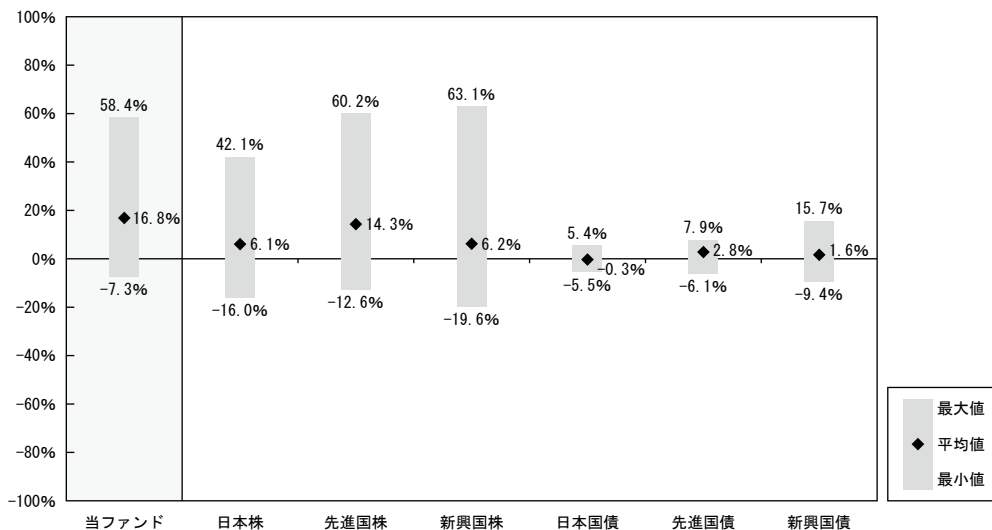


## 《当ファンドの概要》

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型
信託期間	無期限です。ただし、元本金額が10億円を下回った場合などはファンドを終了（繰上償還）させる場合があります。
運用方針	この投資信託は、米国の株式市場全体（特定の株価指数を含みます。以下、同じ。）に概ね連動する投資成果を目指して運用を行いません。
主要投資対象	主として、投資信託証券（金融商品取引法第2条第1項第10号に規定する投資信託及び外国投資信託の受益証券並びに同項第11号に規定する投資証券及び外国投資証券をいい、この投資信託においては、上場投資信託証券とします。）に投資を行いません。
運用方法	<p>①米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の企業の株式に投資を行ない、米国の株式市場全体に概ね連動する投資成果を目指して運用を行いません。なお、投資信託証券への投資に代えて、株価指数先物取引を利用する場合があります。</p> <p>②運用実績等を勘案した上で投資信託証券の選定等を行いません。</p> <p>③米国の企業の株式を主要投資対象とする投資信託証券の投資割合は、原則として高位を保ちます。</p> <p>④外貨建資産（投資信託証券を通じて実質的に組入れる外貨建資産を含みます。）については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤市場動向、資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
分配方針	<p>①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。</p> <p>②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。</p> <p>③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行いません。</p>

## 〈 参 考 情 報 〉

## ◆代表的な資産クラスとの騰落率の比較



・上記は、2018年3月から2023年2月の5年間ににおける1年騰落率の最大・最小・平均を代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドについては設定日から1年を経過していないため、記載していません。上記のグラフの年間騰落率はベンチマークの年間騰落率で代替して表示しております。

## ・各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBP-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※騰落率は直近前月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

## 《ファンドデータ(2023年3月27日現在)》

## 【当ファンドの組入資産の内容】

## ■組入(上位)銘柄

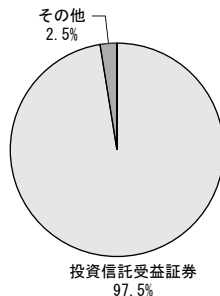
(組入銘柄数：1銘柄)

銘柄名	比率(%)
JPモルガン・ベータビルダーズ・米国株式ETF	97.5

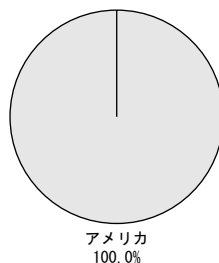
\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

\*全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

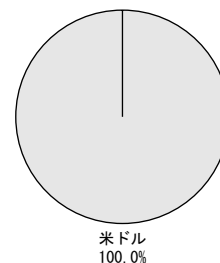
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



\*資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分、通貨別配分の比率は、投資信託受益証券全体に対する評価額の割合です。

## 【純資産等】

項目	第1期末
	2023年3月27日
純資産総額	388,834,699円
受益権総口数	386,734,175口
1万口当たり基準価額	10,054円

\*当期中における追加設定元本額は634,335,605円、同解約元本額は248,601,430円です。